

公共事業再評価調書 (3回目再評価)

所管課： 河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 白比川河川改修事業		前再評価年度：平成27年度		
	事業種別： 総合流域防災事業	事業主体： 沖縄県		(H13～R5)	
	事業箇所： 北谷町	根拠法令： 河川法		事業期間： H13～R8	
	総事業費(百万円)： (1,812) 2,932	費用内訳： 補助 9/10		事業量： 1.00km	
1-2 前再評価以降の計画変更	全体の整備区間を鑑み、事業期間の延長を行う。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他(河川整備計画策定後一定期間(5年)を経過)				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他() 米軍提供施設(キャンプ瑞慶覧地区)の一部用地返還(令和2年3月31日)及び利用する土地の引き渡しに期間を要している。				
4 事業の進捗状況 (R2. 3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	2,932	1.00	22.9	
	実施済	1,323	0.10	22.9	
	率	45%	10%	100%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	平成26年9月に共同使用を得て、平成28年度までに国道58号白比橋から上流100mの護岸工事が概成した。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 整備期間+50年) (基準年 R2) (単位：百万円)	① 一般資産	28,759		① 建設費	2,814
	② 農作物	0		② 維持費	865
	③ 公共土木施設等	21,339			
	④ 間接被害額	1,727			
	便益(B)	51,825			
	⑤ 残存価値	63		総費用	3,679
	基準年換算(B)	25,681		基準年換算(C)	4,290
	費用便益比 (B/C) = 25681 / 4290 = 6.0				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： 全国的に降雨による水害が激甚化しており、本県においても河川整備を着実に推進する必要がある。未整備区間については、依然として氾濫の危険性があり早期整備が必要である。 ② 地元・自治体： 令和2年度における中部市町村との行政懇談会において、北谷町から早期整備の要望がある。 ③ 利害関係者： 令和2年3月31日に米軍提供施設(キャンプ瑞慶覧地区)の一部用地が返還された。返還後は、沖縄防衛局が支障除去(土壌汚染調査・磁気探査等)を行い、利用する土地の引き渡しとなる。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 平成28年度までに国道58号の白比橋直上流から100mが概成しているが、その後も氾濫が発生しているため、引き続き早期整備に取り組み、浸水被害の解消を図る必要がある。 ② 事業の効率性： 用地取得率が100%に達しているため、現計画を推進することが効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： 改修区間は一部であるため、事業効果は限定的である。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等： 基地返還後は、沖縄防衛局が支障除去(土壌汚染調査・磁気探査等)を行い、利用する土地の引き渡しとなるため、早期の護岸整備が実施できるよう引き続き沖縄防衛局と調整を行う。 ② 対住民関係： 地域住民に対し事業の必要性等を丁寧に説明し、地元自治体と連携を図りながら事業実施に取り組む。 ③ 執行体制等： 現在の組織体制で特に問題なし。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・北谷は観光地としてまだまだ延びる地域だと思うので、美観や景観に配慮したデザインにしてほしい。 ・自然環境への調査確認、記録化など行い、環境配慮型の河川改修をしてもらいたい。特に汽水性の動植物の生息範囲の調査を行って頂きたい。				

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画